

天地を喰らう

1

玄德と孔明の巻



本宮ひろ志

おれの名は
劉備 玄德
中山 靖王の
末孫

今は
ワラジ売りに
身はやつして
いても漢の皇帝
の玄孫って事よ



この
ドロボウ猫
めが!!

なにを寝言
いつてるか

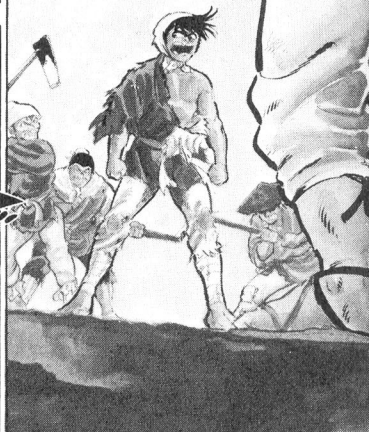
しまいにや
笑うぞ!!

きやすく
さわるな
貧乏人



ギヤアア
ツ

イテテ
ツ



おい までよ
悪かった
おれが
悪かったよ

くそつたれ
どもが!
殺す事は
ねえだろ
悪かったって
いってんじゃ
ねえかよ

わーせ!!



バチが あたるぞ
きさまら
景帝の玄孫を
こんな目に
あわせてみろ!



わーせ!!

てめえら
みんな
死刑だぞ!!

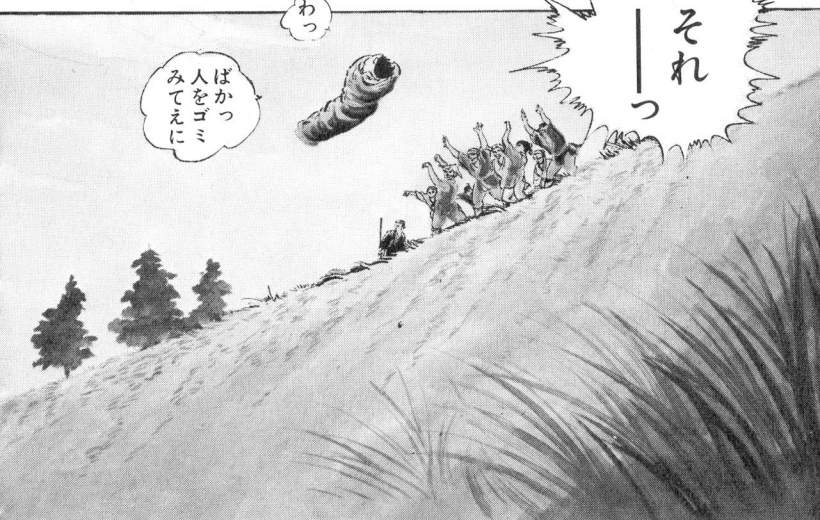


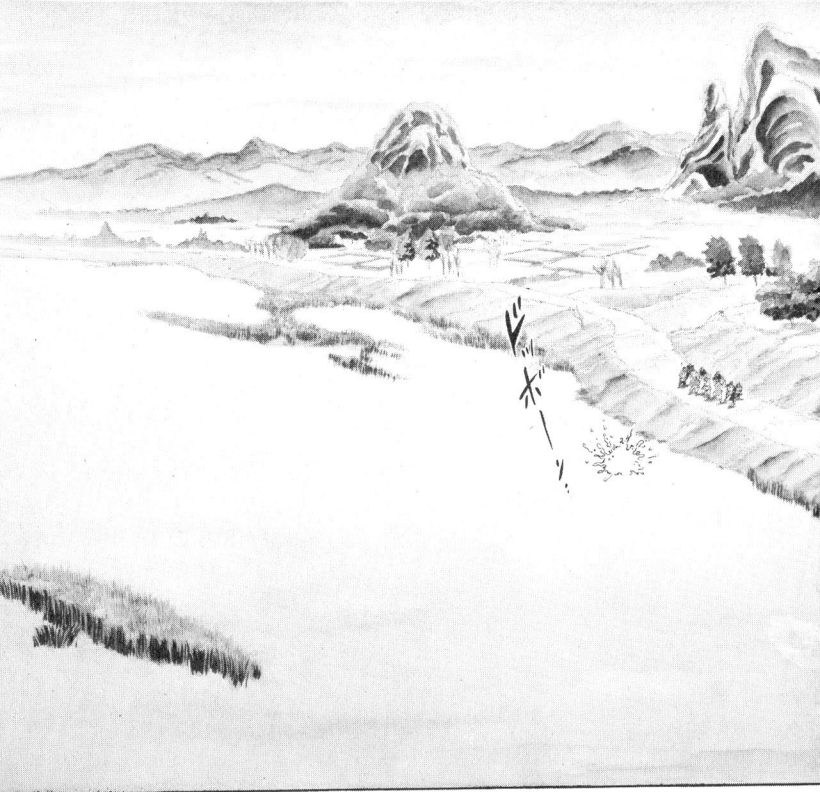
わっ

ばかっ
人をゴミ
みてえに



それ
っ









みつ みる
頭に黄色の
布を
まいてるぞ

すすると
あれが
ウワサの
太平道の！

そうだ
黄巾党だ

そ
それに
しても

なんという
大きな男だ
馬にまたがって
足が地面に
ついてる



ひい
ひい
!!

うわあ
うわあ
助けてくれ
っ



わんわん!!



ちくしょう
つ

ばけてやるぞ!
おばけになつて出てやる!!



くわえてまいれ冠かん

がるる
ううつ



ゴボツ



ゴボツ



ワラジ売りの小僧が
中山靖王の末孫とは
片腹いたい
大ボラだが……

たとえ
ホラでも
その名を耳にして
この関羽雲長が
見すごすわけにも
いくまい





フン
あのヒゲ
やろう



命は天より下されしもの……
ムダにあつかうなよ
おれの名は 関羽……
縁があったら また
あおう

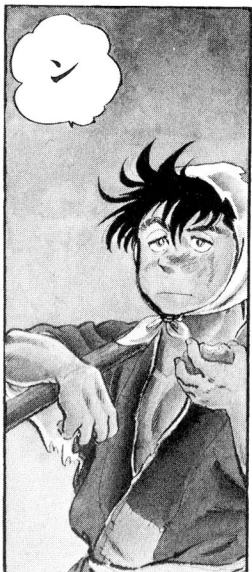
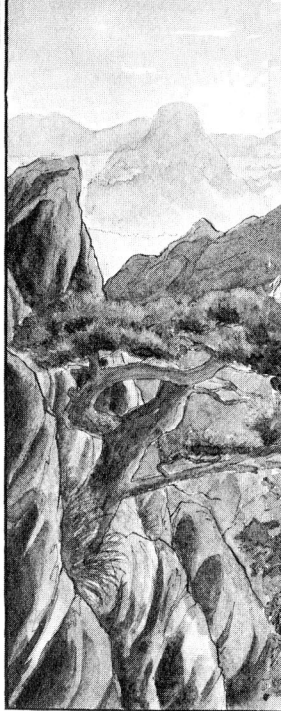


ばかやろう
勝手にしやがれ
おれの命は
おれのもんだ



おらぬか
~~~~~  
つ

もらって  
くれる者は  
おらぬか  
あ~~~~  
つ



ン

我ら〜  
姉妹イ〜  
だれぞ

嫁として  
もろうてくれる  
者はあ〜

おらぬ  
かあ〜

なっなにを  
いっとる  
のじゃ  
この女たちは

聞いての  
とおりよ  
かれこれ三日も  
ああいながら  
ここに  
すわっとる

みてみろあの  
手を！死病じゃ  
不治のうつり病  
死病にとりつかれて  
おるわ

ばか  
あまり  
近づくな  
死病が  
うつるぞ

それに  
しても  
あわれな  
女たちだ

だれ  
ぞお〜

ひええ〜  
本当だ  
顔なんか  
くずれてるぜ

死病に  
おかしな  
ながらも  
男の妻と  
なりたい

仕方あるまい  
それが  
女の性<sup>さぶ</sup>つてもん  
じゃないか

それにしても  
この女たちと  
交われば男の体も  
くさって  
死んでしまう

まったくくだ



そんな物好き  
男など  
この涿<sup>とく</sup>県はおろか  
幽州<sup>ゆうしゅう</sup>にさえ  
おるものか

ゆほほ

あっほほほ

ちがいない  
この女たちと  
交わるくらいなら  
ブタのほうが  
まだましだ

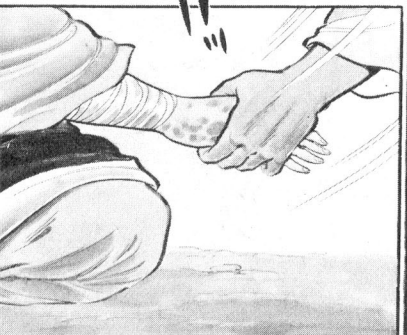
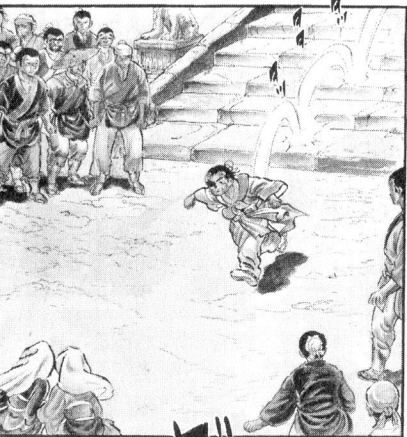


おい女  
こんな所に  
いたら  
病が  
うつる!!

どこかへ  
いって  
しまえ!!







まって  
ください!

僕は…



諸国を  
旅する  
諸葛孔明  
という者  
です

まだ  
わずかな時間と  
わずかな  
広さしか  
物を  
見ていません



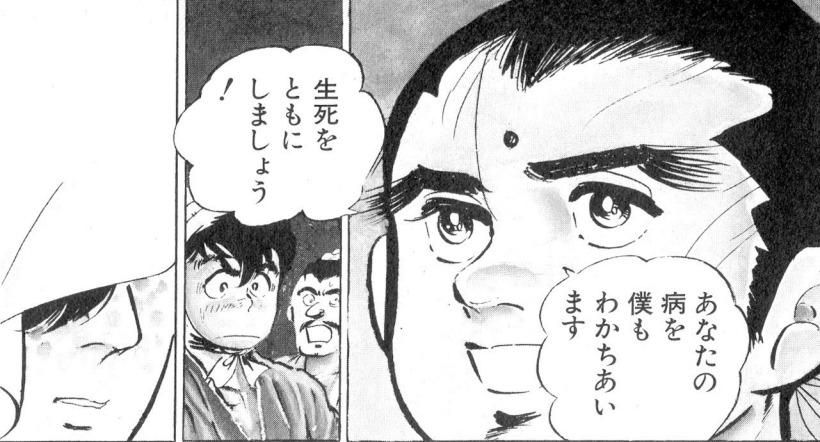
しかし  
そのわずかな  
中ですら  
僕はなにを  
したらいのか  
なんのために  
生まれてきた  
のか…

一体  
なにに役立つ事  
ができるのか  
まるで わかる事  
ができないのです

しかし  
あなたを  
妻にする事で

あなたが  
ひと時でも  
幸せに  
なれるのでしたら  
確実に役に立つ  
僕は  
生まれた甲斐が  
あります





生死を  
ともに  
しましょう!

あなたの  
病も  
僕も  
わかちあ  
います



ガキの  
くせに  
色気づき  
やがって!!

ちっ  
こいつ  
まだガキ  
だぞ!

子どもでは  
ありません!!  
十六歳です  
女の人を守る力は  
あります!!



やか  
ましい!!

とつとつ  
この村から  
出てうせろ!!

だめだつ  
そんな事を  
したら  
だめです

うるさい  
きさまらが  
くつつくのは  
勝手だが  
死病持ちの子どもを  
産んで 病気を  
広められて  
たまるか!!

そうだ  
そうだ

まて  
まてえ  
!!

まち  
やがれつ  
やめねえ  
か!!

なつ  
なんだ

おまえは  
楼桑村の  
玄徳ではないか  
いつ 帰って  
きたんだ

けっしよせん  
時世に流されるだけで  
ただ 生きてる  
だけだろ  
そんなゴミみてえな  
百姓の命

どうって事  
あるかい



もうひとりの  
こっちの娘は  
おれが  
もらっちゃる

死病だろうと  
なんだろうと  
かまうもの  
かってんだ

おれも  
まだ  
ガキだけど  
二〜三年もすりや  
おとなにならあ

そんな事  
してみろ！  
おまえは  
楼桑村には  
いられなく  
なるぞ！！

そうだ村を  
出てゆけ  
劉備！

へん  
こんな  
世の中  
苦しい事  
ばかりだよ  
なあーんにも  
いい事なんか  
ありやあしねえ

ああーっ  
出てゆくわい  
今までは  
おまえらには  
ろくな目に  
あわされちゃ  
いねえんだ！！

いい事なんか  
ちつともねえ  
世の中を  
生きてゆく  
ために

また  
つまらねえ  
おもしろいして働いて  
苦勞をかさねる…  
くっだらねえつたら  
ありやしねえ

そんな つまらない  
世の中でも  
おれは まだ体が  
丈夫だ  
それなのに  
おまえは 体さえも  
おかされてる  
安心しろよこれからは  
ずっと おれが  
そばにいてやるからな

なんと  
いう  
バチあたり  
め!

なんという  
なまけ者じゃ

さあ  
いこう

二度と  
くるなよ  
きさまら  
一度でも  
この村に足を  
いれてみろ

あつ  
イテテ

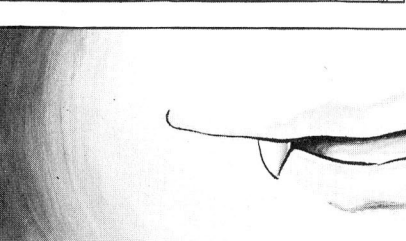
殺して  
やる!!  
わかっ

玄徳  
たか





殺すだと  
.....



嵐!!  
おさえるの  
じゃ!

姿を  
みせては  
ならん!!



おのれら  
雑ばの  
人間ども  
が.....

この  
わたしを  
殺すだと  
.....



身のほど  
しらずの  
地虫どもめ  
!!



うわ〜っ



ぎえーっ

ばけ  
もんだ  
この女!!



やはり  
そうか!!




そのあさはかさが  
いつまでたっても  
きさまら人間 悪業の  
源なのじゃあ〜っ!!

死に絶えてしまえ  
おろかな生き物どもよ



我われが  
天より雨を  
降らし 太陽を  
つかさどり  
大地に草木を  
繁さずんば  
おのれらの糧は  
ない!!



盤古が  
天地を分けて  
以来 うじ虫の  
ように湧き出た  
人間どもよ!  
おのれらの  
身のほどを  
知るがよいっ

天の恵を  
忘れる  
な——っ



劉備さん

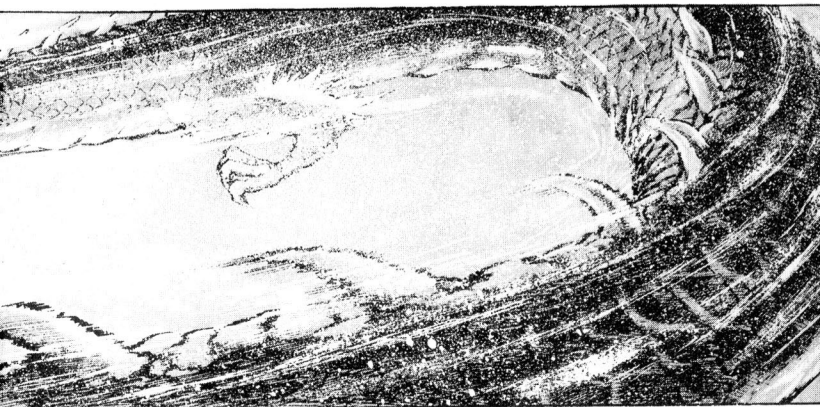
あの怪物の

背に

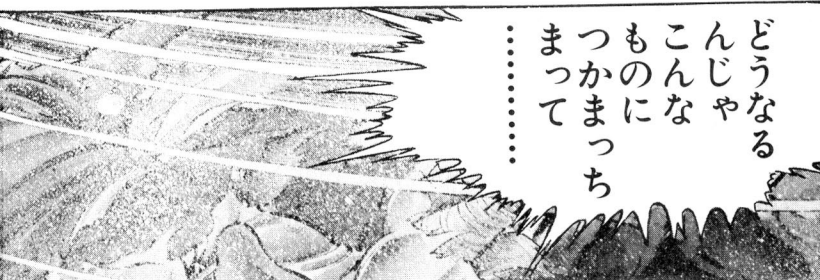
とびうつる

んです!!

!!いそいでっ



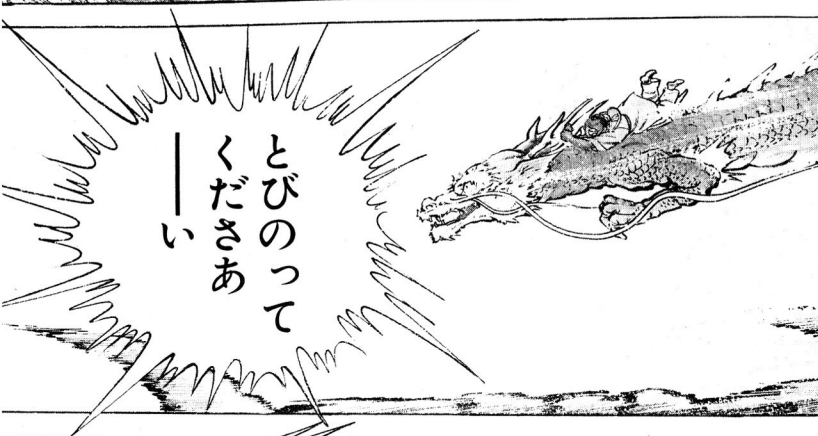
うわあ  
~~~~  
っ



どうなる
んじゃ
こんな
ものに
つかまつち
まって
.....



なにっ



とびのって
くださあ
い



ひ
い
っ



!!んいつど
だかれこ
よれてへ
る



!!天です

わたしたちの
夢をとりに
天に昇るん
です!!



あっ あれは
あの女たちは…

てっ
天からの
使いだっ
んだ



劉備りゅうびが
天に…

天に
昇って
いった…

